

申込期間 2月19日(月)～3月2日(金)
試験日 3月12日(月)
※市役所本庁にて実施します。
申込先及びくわしくは

市民課 ☎(21) 5110

市税等徴収嘱託員

募集人員 1名

採用予定日 4月1日(日)

申込資格 昭和20年4月2日から昭和42年4月1日までに生まれた方で、普通自動車運転免許を持っている市内在住の方

勤務日 毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)

徴収地域 日光地域および足尾地域

報酬 基本給：月額80,000円

歩合給：徴収税額・件数により加算
福利厚生 社会保険(健康保険・厚生年金)、雇用保険

申込方法 所定の用紙で申し込む

※申込書は、2月19日(月)から本庁税務課及び各総合支所税務課で配布します。

申込期間 2月19日(月)～28日(水)
試験日 3月6日(火) 午後1時30分
※市役所本庁にて実施します。

申込先及びくわしくは

税務課 ☎(21) 5103

中学生向け異文化理解講座

外国人講師が、ゲームなどを通じて各国の文化や生活などを分かりやすく紹介します。

◎中央公民館【旧生涯学習センター】

フランス人・アメリカ人

3月17日(土) 午後2時から

◎日向公民館(アメリカ人)

3月26日(月) 午後1時30分から

◎足尾公民館(アメリカ人)

3月27日(火) 午後1時30分から

◎日光公民館(中国人・アメリカ人)

3月28日(水) 午後1時30分から

参加資格 市内在住または、市内の学校に通学している中学生

※小学校高学年でも参加可能です。

募集人数 各回20～30人程度(先着)

申込方法 電話で申し込む

申込期限 各講座開催日の5日前まで

申込先及びくわしくは

生涯学習課 ☎(21) 5182

平成19年度奨学生

貸付要件

①保護者が市内に居住している

②高等学校、高等専門学校、短大、大学、専門学校またはこれらと同等の学校に在学している

③学業成績が優秀で、健康である

④経済的理由で修学が困難である

⑤確実な連帯保証人を付する

⑥ほかの機関から奨学金に類するものを受けていない

◎修学資金

高校生・高等専門学校生など

：月額20,000円

短大・大学生・専門学校生など

：月額40,000円

貸付期間 在学期間

貸付時期 四半期または半期

返済方法 卒業後、1年据え置きで、

貸付期間の2倍に相当する期間内に

返済する(無利子)

◎入学一時金

高校生・高等専門学校生など

：100,000円以内

短大・大学生・専門学校生など

：300,000円以内

貸付時期 5月中

返済方法 卒業後、4年以内に返済する(無利子)

申込期間 2月26日(月)～3月12日(月)

申込先及びくわしくは

学校教育部 ☎(21) 5181

日光教育行政事務所 ☎(53) 3702

藤原教育行政事務所 ☎(76) 1240

足尾教育行政事務所 ☎(93) 3321

栗山教育行政事務所 ☎(97) 1139

日光IT都市化研究所講習

◎インターネット活用講習

とき 3月11日(日) 午前9時～正午

内容 マウス、キーボードの使い方、インターネットの使い方(初心者向け)。

掲示板(BBS)の使い方。インターネットを活用した仲間づくり。

◎デジタルカメラ講習

とき 3月18日(日) 午前9時～正午

内容 デジタルカメラ撮影テクニックからパソコン処理まで

ところ 日光IT都市化研究所

※日光郷土センター向かい(旧晃黎堂)

対象者 市内に在住または勤務している方

※経験の有無は問いません。

定員 各16名(先着順) 費用 無料

申込期間 2月24日(土)～25日(日)

午後2時～5時

申込方法 電話で申し込む

申込先 日光IT都市化研究所

☎(53) 3007

くわしくは 行革・情報推進課

☎(21) 5147

勤労青少年ホーム(サクシードにつこう)講座

◎利用者会もちつき大会

とき 3月3日(土)

午前10時～午後2時

ところ 勤労青少年ホーム

定員 25名 費用 500円

申込期限 2月25日(日)

◎クロワッサンを作ろう

とき 3月10日(土)

午前10時～午後1時

ところ 勤労青少年ホーム

定員 20名 費用 1,000円

申込期限 3月6日(火)

対象者 市内に在住または勤務している35歳以下の方

申込方法 利用者会費500円と参加費を添えて申し込む

申込先及びくわしくは

勤労青少年ホーム ☎(22) 6211

ピア・カウンセリング研修会

障害のある仲間同士が、お互いの気持ちや聞き、共感しながら自己信頼を取り戻していくための研修会です。

とき 3月6日(火) 午前10時～午後3時

※受け付けは、午前9時30分からです。

ところ 今市保健福祉センター

対象者 市内に在住で障害のある方

内容 一部：講義「ピア・カウンセリングとは」

一部：演習「ピア・カウ